

漁業

漁業は経済に付加価値をもたらし、雇用を生み出す第二の成長の原動力として位置づけられています。多様な資源に恵まれた広大な大陸棚を持つギニアビサウは、西アフリカで最も豊かな海域の一つであり、伝統漁業から近代的な産業漁業まで、多くの外国人漁師たちに愛されています。

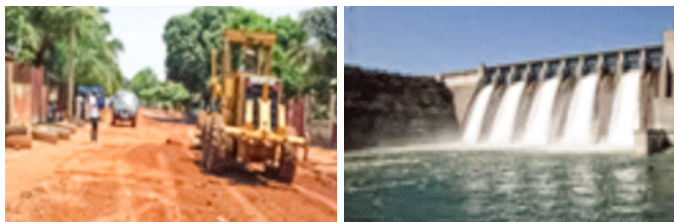
豊かな漁業資源を支える要因としては、(1)108,000平方キロメートルに広がる排他的経済水域と、広くて浅い大陸棚(53,000平方キロメートル)、(2)マングローブに縁取られた広々とした入江、(3)複数の島々によって形成された自然の防護システムが存在する数多くの河口域(4)沿岸での湧昇現象、(5)特に雨季に重要となる河川からの水の流入、などが挙げられます。

これらの自然条件により、274キロメートルの海岸線に沿って、豊富で多様な沿岸・沖合いの水産資源が広がっています。ギニアビサウの漁業は、経済成長を促し、雇用を創出し、食料安全保障の向上、貧困を削減させる可能性を秘めた、ミレニアム開発目標の達成に不可欠な要素です。主に沖合での活動により、経常収支収入の約25%、GDPの5%に貢献しています。



鉱物資源

ファリム地域(中北部)にはリン酸塩、ボエ(南東部)ではボーキサイトが産出されています。これらの天然資源は外国投資家の注目を集めていますが、現時点では物資の輸送と独自の輸出ルートの確保が困難なため、鉱山は稼働していません。バレラ(北西端)には重鉱砂があります。



文化とレジャー

ギニアビサウは、文化政策をすべての政策に横断的に関わる重要な要素として位置づけています。文化は、過去と未来をつなぐ架け橋であり、国家アイデンティティを形作る重要な要素です。文化の統一的役割は、多くの市民が文化活動や文化財に触れる機会を持つことで、初めて十分に実現できるものと政府は考えています。

ギニアビサウは豊かな文化・自然・歴史・建築遺産に恵まれた国です。

約30の民族がそれぞれ独自の伝統と文化を守り、奴隷貿易とポルトガル植民地時代の歴史が織りなす多彩な文化は、特に音楽とダンスに鮮やかに表れ、国民のアイデンティティを形作っています。87の島々からなるビジャゴス諸島を有するギニアビサウは、まさに地上の楽園です!

ギニアビサウは西アフリカ最大の公園・生物多様性保護区を有する地域です。世界に存在する7種の高ガメのうち5種がこの地で繁殖し、さらに世界で唯一の塩水に生息するカバが暮らす特別な生態系が広がっています。

ギニアビサウは多様な文化、民族、言語が共存する国です。非公式な経済活動が主流を占める社会のため、文化・創造分野の経済的・社会的な影響を正確に把握できる公式データや統計の入手は難しい状況にあります。

問合せ

観光: gepriturismogb@gmail.com

スポンサー



©Expo 2025

©2025 Republic of Guinea-Bissau. All rights reserved.
Republic of Guinea-Bissau holds the rights or permission for usage of all material used.

COMMONS-A PAVILION



ギニアビサウ共和国



国家元首
ウマロ・シソコ・エンバロ大統領

ギニアビサウの人々による 未来社会の実験場

- 建国記念日：1973年9月24日
 - 面積：36.125 km²
 - 人口(2023年)：2,153,339人
 - 人口密度：43.35人/km²
 - 首都：ピサウ(人口431,082人)
 - 公用語：ポルトガル語(実際に話すのは27.1%のみ。)
- さまざまな民族の間で、最も広く使われているのはクレオール語で、人口の約90.4%が話す。この他、バランタ語、マンディンガ語、フラ語、マンカーニャ語、パペウ語、マンジャカ語など、部族の方言もある。
- 宗教：アニミズム - 44.9%
 - イスラム教(スンニ派) - 41.9%
 - キリスト教 - 11.9%、
 - その他(無神論者を含む) - 1.3%
 - 政治体制：半大統領制共和国
 - 国家元首：ウマロ・シソコ・エンバロ大統領
 - 首相：ルイ・ドゥアルテ・デ・バロス
 - 通貨：CFAフラン BCEAO (XOF)
- 1ユーロ = 655,957 XOF (固定相場 XOF/EURO)



**環境：
未来の社会をデザインする：
環境への取り組み**

未来の社会を構築するには、環境保全への確固たる決意が必要です。生物多様性が最大の財産の1つであるギニアビサウでは、この決意はさらに重要になります。森林、マングローブ、河川、海洋は単なる天然資源ではなく、私たちの経済、文化、アイデンティティを支えるものです。

しかし、私たちは気候変動、環境への過度な介入、そして自然資源の乱用によって、ますます深刻な課題に直面しています。環境保全は開発から切り離すことはできません。イノベーション、環境教育、生態系の賢明な活用を重視する持続可能なモデルを推進し、経済成長と環境保護のバランスを確保する必要があります。

ギニアビサウで未来社会を構想することは、環境政策の強化、再生可能エネルギーへの投資、グリーン経済を促進し、地域社会のレジリエンスを増大させることを意味します。それは何よりも、次世代の幸福が今日の私たちの決定にかかっているということに他なりません。力を合わせれば、進歩と自然が調和して共存し、持続可能かつ公正で包括的な未来を築くことができるのです。



投資法 (IC)

ギニアビサウにおける投資活動は、7月6日付の法律第13号／2011により制定されたCIに準拠します。本法令において、外国投資とは、ギニアビサウ国内に由来しない資源を用いて、いかなる国籍でも個人または法人が同国領域内の経済活動に対して行う投資と定義されています。鉱業、石油、林業分野への投資、および特別経済区域や免税店での投資は、本法の適用範囲から除外されており、それぞれの法律または投資契約によって規制されています。

外国人投資家は、国内投資家と同等な待遇を受けることができ

ます。配当金や分配利益、資本の本国送還、投資の譲渡、売却、清算による収益を海外に送金することが認められています。



観光の魅力

豊かな生物多様性、華やかな伝統文化、圧巻の自然景観を誇るギニアビサウは、観光地として無限の可能性を秘めています。ポテンシャルに富むギニアビサウの魅力を持続可能な発展へと結びつけるため、戦略的かつ包括的な投資計画を進めています。

ビジョン:

類まれな自然の美しさ、豊かな文化遺産、持続可能性への確かな取り組みで知られる西アフリカ随一の観光地へと発展させ、地域社会に経済的・社会的な豊かさをもたらします。

目標：

●ギニアビサウをエコツーリズムの目的地として確立する：生物多様性の保全と環境負荷の少ない観光活動の発展を促進します。また、エコツーリズムに加え、文化、食、アドベンチャーなど多様な観光の魅力を開拓していきます。

質の高い観光インフラを整備：ホテルやレストラン、空港などの観光施設を建設・近代化。上質なサービスで観光客の皆さまに快適な滞在を提供します。

●地域の受け入れ体制を強化：観光分野の専門家育成に投資し、起業家精神と雇用創出を促進します。

●地域文化と伝統の継承: 現地の豊かな文化を観光資源として活かしながら、地域コミュニティを大切にし、観光の恩恵が地域住民にも届くよう取り組みます。

ギニアビサウは、他では味わえない本物の体験ができる特別な目的地です。冒険心をくすぐる体験や、未知なる文化との出会いを求める方にとって、ギニアビサウは理想の場所です。

